

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第566号（平成27年2月12日発行）

【今週号の主な内容】

■ 《今週の報道発表》

今週の報道発表はございません。

■ 《RPPC事務局からのお知らせ》

1. 中国・九州ブロック交流会開催について（ご報告）
2. 調査・研究部会 国際資源循環ミニセミナー開催のお知らせ（受付期間延長しました）
3. 次回汚染土壌事業化PT（WG）の開催について

■ 《リサイクルポートに関連する最新の情報》

1. リサイクルポート推進協議会、「中国・九州ブロック交流会」開催
2. 平成26年度補正予算補正予算成立、港湾関係予算は323億7500万円

=====

1. 中国・九州ブロック交流会開催について（ご報告）

平成27年2月4日、5日 北九州市にて  
中国・九州ブロック交流会が開催されました。  
おかげ様で多数の方に参加していただきました。  
（参加人数は103名でした）  
ご協力ありがとうございました

【幹事会・事務局】

2. 調査・研究部会 国際資源循環ミニセミナー開催のお知らせ（受付期間延長しました）

リサイクルポート推進協議会調査・研究部会では、国際資源循環物流に関して、課題を整理し、そのシステム化を目指した検討を行うこととしています。

本ミニセミナーは、中国における資源循環ビジネスに関する最新の取組みについて講演頂き、RPPC会員・国土交通省港湾局等を含めた意見交換を行うことにより、リサイクルポートを活用した国際資源循環物流の円滑化に向けた検討を進めることを目的としています。

日時：平成27年2月20日（金）16：00～19：00

講師：元 東達集団／大連国家生態工業モデル園有限公司

総裁弁公室 副主任 小林 均 様

場 所： 一般財団法人 みなと総合研究財団（WAVE） 会議室

※参加募集人員は 40 名（定員になり次第締め切らせていただきます）

※席に余裕がありますので、ぜひ、ご参加ください。

詳細については、添付のご案内状にてご確認ください。

### 3. 次回汚染土壌事業化 PT (WG) の開催について

下記日時にて開催予定となっておりますのでご確認ください。

#### 記

日時：平成 27 年 2 月 17 日（火） 場所：みなと総研 3 階会議室

13：00～14：30 WG②, ⑥

14：30～15：30 WG③・④

15：30～16：30 WG①

#### 【調査・研究部会 事務局】

#### 1. リサイクルポート推進協議会、「中国・九州ブロック交流会」開催

リサイクルポート推進協議会は 2 月 4 日、北九州市の門司港ホテルにおいて平成 26 年度「リサイクルポート中国・九州ブロック交流会」を開催した。

当日は「循環資源のセメント資源化」と題して細川浩之セメント協会生産・環境部門リーダー、「プラスチックの再資源化」として、神谷卓司プラスチック循環利用協会総務部広報部長がそれぞれ講演したほか、国土交通省港湾局海洋・環境課の森信哉港湾環境政策室長が「リサイクルポート施策に係る最近の動きについて行政報告した。またリサイクルポートの紹介として、境港、徳山下松港・宇部港、三池港、北九州港の取組について、各港湾管理者の担当者が説明した。

ブロック交流会開会にあたって、地元主催者として橋本哲治北九州市港湾空港局長が「北九州市は公害を克服した経験を活かし、循環型社会形成に力を入れている。リサイクルポート関連施策としては、静脈物流、モーダルシフト等の取組を進めており、本日の交流会を通じて、港湾振興に係るシーズ、ニーズの掘り起こしに繋がれば幸い」、と挨拶した。

講演会では細川氏が、石炭灰や下水汚泥、清掃工場の焼却灰等、廃棄物を有効活用しているセメント業界の役割を説明したほか、神谷氏がプラスチック製品のリサイクルの実情とその広報の必要性を挙げた。

また森室長はリサイクルポートを巡る行政報告の中で、「境港市で発生する木皮は従来、

焼却処分していたが、これを酒田港に海上輸送してバーク堆肥として再利用する取組が動き出そうとしている。また酒田市で発生する汚泥はこれまで減容化して最終処分していたが、これを建設発生土との相積によって八戸港、室蘭港に海上輸送し、セメント製造過程で有効活用する取組が始まっている」と新たな循環資源輸送の事例を紹介。そして今後の取組として、循環資源発生とその需要先とのマッチングに向けた情報管理システムの立ち上げを進め、循環資源集約化、広域輸送の促進を図っていきたい、との考えを述べた。

【港湾空港タイムス】

2. 平成 26 年度補正予算補正予算成立、港湾関係予算は 3 2 3 億 7 5 0 0 万円

平成 26 年度補正予算が 2 月 3 日、参院本会議で可決、成立した。港湾関係予算の総額は 3 2 3 億 7 5 0 0 万円（うちゼロ国債 2 6 2 億 6 1 0 0 万円）で、港湾整備事業費は 3 0 3 億 2 6 0 0 万円（ゼロ国債 2 4 4 億 6 1 0 0 万円）。また港湾海岸事業費は 20 億 4 9 0 0 万円（ゼロ国債 18 億円）。

補正予算は、地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策（昨年 12 月 27 日閣議決定）に基づき、「災害復旧など災害・危機等への推進」として、▽港湾における防災・減災対策、▽自然災害リスクが高い地域・施設等における緊急防災対応を推進するための海岸保全施設の整備、等に配分している。またゼロ国債（国庫債務負担行為）では、積雪寒冷地帯等の施工期間に制限があるなど、早期の工事着手が必要な事業について、その効率的な事業進捗を支援する予算となっている。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者：RPPC 広報部会

部会長：徳田 英司 新日鐵住金（株）

部会員：山崎 和宣 五洋建設（株）

堀江 良彰 東京都

加賀谷 聡一 (株)酒田港リサイクル産業センター

紫牟田 和隆 光和精鉱(株)

新谷 聡 りんかい日産建設（株）

リサイクルポート推進協議会事務局 一般財団法人みなと総合研究財団（内）

担当：本野、井手、榎並 URL：www.rppc.jp E-mail：rppc\_jimukyoku@wave.or.jp

※会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

※メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####

# リサイクルポート推進協議会 調査・研究部会 国際資源循環ミニセミナー

リサイクルポート推進協議会調査・研究部会では、国際資源循環物流に関して、課題を整理し、そのシステム化を目指した検討を行うこととしています。

本ミニセミナーは、中国における資源循環ビジネスに関する最新の取組みについて講演頂き、RPPC 会員・国土交通省港湾局等を含めた意見交換を行うことにより、リサイクルポートを活用した国際資源循環物流の円滑化に向けた検討を進めることを目的としています。

## ◆16:00～17:00

講演「中国(大連;遼寧省)の循環経済分野のビジネス化の取組状況と中日連携への期待」

講師:元 東達集団/大連国家生態工業モデル園有限公司

総裁弁公室 副主任 小林 均 様

講師紹介:1964 年生まれ、埼玉県川越市出身。1989 年東北大学工学部土木学科卒業後、

(株)エックス都市研究所入社。環境エンジニアリング部長を歴任

2011 年 3 月同社退社。

同年 4 月より中国転身。2015 年 1 月退職。

技術士(衛生工学)、早稲田環境総合研究所招聘研究員。

## ◆意見交換会

※参加費無料

●日 時： 平成 27 年 2 月 20 日 (金) 16:00～19:00

●場 所： 一般財団法人 みなと総合研究財団 (WAVE) 会議室

(東京都港区虎ノ門 3-1-10 第 2 虎の門電気ビルディング 3 階)

参加募集人員は **40 名** (定員になり次第締め切らせていただきます。)

## ●申し込み

参加を希望される方は以下の参加申し込み用紙にご記入の上、**2 月 13 日 (金)** までに、FAX 又は電子メールにてお申し込み下さい。

申込先：リサイクルポート推進協議会 事務局 担当：本野・井手・榎並

FAX：03-5408-8741 E-Mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

ミニセミナー

参加 ・ 不参加

意見交換会

参加 ・ 不参加

※○を付けて下さい。

参加者のお名前：ふりがな \_\_\_\_\_

ご 所 属： \_\_\_\_\_

電 話 番 号： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

E - m a i l： \_\_\_\_\_